

製品名: MDM2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21162**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:90kD

抗原情報

遺伝子名	MDM2
別名	MDM2;E3 ubiquitin-protein ligase Mdm2;Double minute 2 protein;Hdm2;Oncoprotein Mdm2;p53-binding protein Mdm2
遺伝子 ID	4193.0
SwissProt ID	Q00987
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

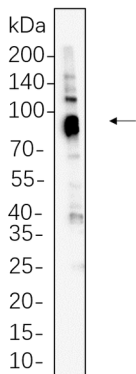
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は核局在性の E3 ユビキチンリガーゼをコードする。コードされているタンパク質は、p53 などの腫瘍抑制タンパク質を標的としてプロテアソーム分解を行うことで腫瘍形成を促進する。この遺伝子自体は p53 によって転写制御されている。この遺伝子座の過剰発現または増幅は、様々な癌で検出されている。この遺伝子の偽遺伝子は 2 番染色体上に存在している。選択的スプライシングによって多数の転写産物バリエーションが生じ、その多くは腫瘍細胞でのみ発現する可能性がある。[RefSeq 提供、2013 年 6 月]

研究分野

-

画像データ



A431 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を MDM2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。